

国際シンポジウム「ドイツ・日本・ロシアー未来へのチャンス」

“Germany–Japan–Russia Potentials for the Future”

共催: ベルリン日独センター(JDZB)、コンラッド-アデナウアー財団(KAS)、公益財団法人世界平和研究所(IIPS)

<2011年10月7日(金)10:00~18:00、日本財団ビル2F大会議室>

本日のプログラム

(受付開始9:30~)

10:00~

開会の辞

Dr. Friederike BOSSE (JDZB事務総長)
Joerg WOLFF (KAS日本事務所代表)
佐藤 謙(IIPS理事長)

10:25~

基調講演1

「欧州、アジアの戦略パートナーとしてのロシア」
Ulrich BRANDENBURG 駐露ドイツ大使

10:50~

基調講演2

「日露関係の展望」
都甲 岳洋 三井物産戦略研究所特別顧問、元駐露大使

11:15~

パネル1: “ドイツ、日本、ロシアの関係ー強みと弱み”

議長: 独Prof. Dr. Friedbert PFLUEGER(ロンドン大キングスカレッジ客員教授、ベルリン市議)
パネリスト:
独Dr. Andreas SCHOCKENHOFF (連邦議会議員、CDU/CSU外交・国防・EU政策副院内総務)
露Prof. Dr. Mikhail NOSOV (ロシア科学アカデミー欧州研究所研究次長)
日 都甲 岳洋 (基調講演に引き続き)
※導入プレゼン: Dr. SCHOCKENHOFF
「信頼可能なパートナーシップ構築のための独露協議」

13:00~

昼休憩

14:15～

パネル2: “エネルギーと天然資源”

議長: 北畑 隆生 (IPS副理事長)

パネリスト:

独Dr. Joachim PFEIFFER (連邦議会議員、CDU/CSU経済政策スポークスマン)

露Prof. Dr. Mark ENTIN (モスクワ国際大学欧州研究所部長、ロシア科学アカデミー会員)

岡 素之 (経団連日露経済委員会委員長、住友商事会長)

※導入プレゼン: Prof. Dr. ENTIN

「天然資源は、対立問題か外交政策の好機か？ロシアの日本、欧州との関係について」

15:30～

休憩

16:00～

パネル 3: “東アジアの安定 - 日本、ロシア、欧州の共通課題”

議長: 北岡 伸一 (IPS研究本部長、東京大学教授)

パネリスト:

独Prof. Dr. Friedbert PFLUEGER

露Prof. Dr. Georgy TOLORAYA (「ロシアの世界」基金地域プロジェクト部長、アジア・アフリカ部長)

日 風間 直樹 (参議院議員)

※導入プレゼン: 風間 直樹

「独露関係と東アジア 欧州のパワーバランス変化が東アジアに与える影響」

17:45～

閉会の辞

Dr. Stefan FRIEDRICH (KASアジア太平洋部長)

キーノートスピーカー、各パネル参加者のご紹介

< 基調講演1 >

スピーカー: Ulrich BRANDENBURG(ドイツ、駐露ドイツ大使)

学歴: 1977年ソルボンヌ大学卒業(言語学)。

職歴: 1980年外務省入省、政務局次長等を歴任、2010年より駐露ドイツ大使。

< 基調講演2 >

スピーカー: 都甲 岳洋 (日本、三井物産戦略研究所特別顧問、元駐露大使)

学歴: 1958年東京大学法学部卒業。

職歴: 1958年外務省入省、駐シンガポール大使、駐トルコ大使、駐露大使等を歴任。2003年より(株)三井物産戦略研究所特別顧問。

< パネル1 >

議長: Prof. Dr. Friedbert PFLUEGER(ドイツ、ロンドン大キングスカレッジ客員教授、ベルリン市議)

学歴: 1980年ゲッティンゲン、ボン、ハーバード各大学で修士課程修了(政治、憲法、経済)。

職歴: 1990年より連邦議会議員となり、2005年防衛政務次官。2006年ベルリン市議会CDUグループ委員長に就任、2009年よりロンドン大学キングスカレッジ客員教授。

パネリスト: Dr. Andreas SCHOCKENHOFF(ドイツ、連邦議会議員)

学歴: 1976年チューリンゲン大学、グルノーブル大学卒業。

職歴: 1990年より連邦議会議員、CDU/CSU外交・国防・EU政策副院内総務、独露市民社会協力コーディネーターを歴任。

パネリスト: Prof. Dr. Mikhail NOSOV(ロシア、ロシア科学アカデミー欧州研究所研究次長)

学歴: 1963年モスクワ大学卒業(東洋言語学)。

職歴: ロシア科学アカデミーの国際経済研究所、アメリカ・カナダ研究所、欧州研究所等の役職を歴任。

パネリスト: 都甲 岳洋 (日本) 基調講演者と兼任。

<パネル2>

議長：北畑 隆生(日本、世界平和研究所副理事長)

学歴：1972年東京大学法学部卒業。

職歴：1972年通商産業省入省、大臣官房長、経済政策局長、経済産業事務次官等を歴任。2009年より世界平和研究所副理事長。

パネリスト：Dr. Joachim PFEIFFER (ドイツ、連邦議会議員)

学歴：1992年シュトゥットガルト大学卒業(経営学)。

職歴：シュバーベンエネルギー公社、シュトゥットガルト市経済局勤務を経て、2002年から連邦議会議員、CDU/CSUエネルギー問題コーディネーターやCDU/CSU経済政策スポークスマンを歴任。

パネリスト：Prof. Dr. Mark ENTIN(ロシア、モスクワ国際大学欧州研究所部長)

学歴：モスクワ国際大学で博士号取得(法学)

職歴：外務省欧州協力局主席代理、欧州理事会次席代表、欧州法律研究所長等を歴任。

パネリスト：岡 素之(日本、経団連日本ロシア経済委員長、住友商事会長)

学歴：1966年慶應義塾大学経済学部卒業

職歴：1966年住友商事株式会社に入社、2001年代表取締役社長、2007年からは代表取締役会長。2008年より社団法人日本経済団体連合会日本ロシア経済委員長、日本NIS経済委員長。

<パネル3>

議長：北岡 伸一(日本、世界平和研究所研究本部長、東京大学教授)

学歴：1971年東京大学法学部卒業、1976年同大学院法学政治学研究科博士課程修了(法学博士)。

職歴：立教大学法学部助教授、同教授などを経て、1997年からは東京大学法学部教授。2004年から2006年まで国際連合日本政府代表部次席代表(大使)。2009年より世界平和研究所研究本部長。

パネリスト：Prof. Dr. Friedbert PFLUEGER(ドイツ) パネル1の議長と兼任

パネリスト：Prof. Dr. Georgy TOLORAYA(ロシア、「ロシアの世界」基金地域プロジェクト部長、アジア・アフリカ部長)

学歴：1978年モスクワ国際研究所卒業(国際経済関係論)。

職歴：在韓国大使館次席代表、シドニー総領事、ブルッキングス研究所客員教授等を歴任。

パネリスト：風間 直樹(日本、参議院議員)

学歴：1990年慶應義塾大学法学部政治学科卒業。

職歴：三井物産株式会社勤務等を経て、1999年新潟県議会議員に当選。2007年参議院比例区当選初当選。参議院外交防衛委員、北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会委員等を歴任し、現在は行政監視委員会理事、財政金融委員会委員、政府開発援助等に関する特別委員会委員。